

お酒の世界をひらく
飲み友マガジン

Vol. 8

クランド MAGAZINE

可愛らしいラベルのお酒
大集合！



動物のお酒



動物ラベルの日本酒たち
商品企画の裏側

キュートすぎる！
アニマルカクテルの図鑑



突然ですが、好きな動物はいますか？ 飲み会の席で「好きな動物って何？」なんて聞くと、結構議論になって、仲のいい友人の意外な一面を知ることができたなんて機会がある人もいるはず。愛らしい動物たちは見ているだけでも癒されますよね。クランドでもここ数年、動物をモチーフにしたお酒がたくさん登場しました。今回はそんな動物たちが主役の号です。なぜクランドでは今動物モチーフのお酒が増えているのかを紐解いていきます。あなたの推し酒もぜひ探してみてください。

Index

- 4 クランドアニマルパーク
- 6 動物ラベルの日本酒たち 商品企画の裏側
- 10 キュートすぎる！アニマルカクテルの図鑑
- 12 アニマルおつまみレシピ
- 14 くにゃんど誕生秘話
- 16【新連載】クラフト酒巡り Vol.1 白百合醸造
- 18 クランドのクラフト酒
- 26 商品の詳細は Web ページをチェック
- 27 お酒を飲む前に
- 28 覚えておけば怖い！スパークリング酒の開栓方法
- 29 お酒に関する注意事項



Chateau
Usagi



PIG



ワインエリア



ダックスわいん



チワワいん



おこじょ
白鮑



うさみみ



因幡を愛しすぎて
伝説の酒米を復活
させてしまったうさぎ



やんのかステップ



シロクマ・ロック



空飛ぶペンギン



日本酒エリア



熊猫



針鼠



PONKO



えんこ
艶狐



汗かきゾウさんの
塩グレープフルーツ



まるのみ。
ピーチ



汗かき
コアラさんの
塩ライチ



果実酒エリア

OHITOYOSHI
KUMA



白黒つけない
鹿です。



焼酎エリア



うらたぬき
裏狸



うらぎつね
裏狐



カピバラ温泉



GORILLA
GORILLA
GORILLA



ブランド アニマル パーク

Webマガジン
でも紹介中!

ブランドには近年たくさんの動物を
ラベルに描いた商品たちが増えてきています。
そんな動物ラベルのお酒たちが一挙に大集合!

※こちらで紹介している商品はブランドの動物をモチーフとした商品の一部です。詳しくはブランドのオンラインサイトをご覧ください。



3年目



2年目



1年目

発売後3年間の
ラベルの変遷

修行を終え、1人前になった2人が蔵を代表し、先導していく…。3年目のラベルが今も受け継がれています。

渡邊さんは酒造りで、若松さんは営業。それぞれの道で修行を始めた。

大学卒業以来、久しぶりに再会し、居酒屋で飲み交わす2人の姿を描きました。2人の物語の始まりです。

若松さん「初年度は居酒屋で渡邊と

若松さん「初年度は居酒屋で渡邊と

若松さん「初年度は居酒屋で渡邊と

犬猫2人の変遷とともに、ラベルも変化

若松さん「初年度は居酒屋で渡邊と

若松さん「初年度は居酒屋で渡邊と

若松さん「初年度は居酒屋で渡邊と

もっと詳しく！
知りたい人は、
開発秘話をチェック



お正月ラベルは毎年
楽しみにしています。
戌年がどうなるのか
楽しみです(笑)



日本酒はかなり認知をと
れてきた中で、いちご酒は
新しい取り組みでした。
今後リキュールも増や
したいです。



再醸仕込みの甘いお酒は、
犬猫シリーズの中でも
少し変わります。
期間限定商品なので
毎年発売が楽しみです！

お気に入りの犬猫

動物ラベルの日本酒たち

商品企画の裏側

商品が生まれてくる裏側には、クランドのさまざまな企画担当者たちが関わっています。

人気の動物ラベルの商品たちはどのような経緯を経て生まれてきたのか、

それぞれ異なる形で生まれてきた商品の企画の裏側に迫ります。

酒蔵との雑談から生まれた

Product 1

酒を売る犬 酒を造る猫



宝山酒造
営業部長
若松秀徳さん

宝山酒造
常務取締役
渡邊桂太さん

KURAND
パートナーサクセスチームリーダー
Yujin



「大切な友と呑み交わす酒」がコンセプトの日本酒です。宝山酒造の次期当主の渡邊さんと営業の若松さんは、大学の同級生。3年ぶりに再会し、同じ酒蔵で働くようになった2人を猫と犬に見立てて描いています。



造り手である渡邊さんを猫、営業の若松さんを犬に見立て、2016年に「酒を売る犬 酒を造る猫 通称・犬猫」が生まれました。どのように商品ができたのかを商品企画に関わった3人に伺ってみました。

Yujin「最初はKURAND(クランドの運営元)から一緒に商品を作りたいとお声掛けしたんです。たっけ？」

渡邊さん「そうですね。飲み屋での雑談からはじまったんです。キャッチーなラベルのお酒を造りたいという話から、酒蔵に看板猫がいる話になって、じゃあ猫のラベルにしようかって話に。けど、猫だけじゃパンチが弱い……」

若松さん「そこでKURANDさん側から『若松さん、犬っぽくないですか？』って言われたことをきっかけに、犬と一緒に考えることに(笑)」

Yujin「人懐っこい性格を含めて、犬だと思っただけで、その節は失礼しました……」

若松さん「当時はそんなこと言われたことなかったんですけど、犬っぽく、犬猫をデザインしたデザイナーさんも僕たちの写真を見て描いているからですね。最近では犬猫のおかけが『犬っぽく』って言われるようになりました(笑)」

渡邊さん「私はあまり猫好きのエピソードはないですが……。最初モテ

癒し効果があるという猫の「ゴロゴロ」と鳴く声を聞かせて醸した純米吟醸酒。優しい飲み心地の日本酒とともに、愛猫と過ごす至福の晩酌時間を。



猫の日企画から生まれた

Product 3

にゃおん
猫音 純米吟醸
~ゴロゴロ仕込み~



話をきいたのは

KURAND
商品企画チームリーダー
Maya



2023年2月22日の猫の日を祝うために、猫音(にゃおん)は生まれました。



「猫飼いさんに喜ばれる商品とは」というテーマで、当時マーケティングデザイナー(MD)だった私が企画を務めました。しかし私自身猫を飼っていませんでした。猫飼いがほしくなるお酒の正解がわかりませんで

した。そこで社内の猫好きにヒアリングをしたところ、「結局自分の家の猫が一番好き」という事実がたどり着いたんです。猫飼いさんは猫とお酒を一緒に写真に収めたいという願望があることから、最初に出た案は愛猫を眺めながらお酒を楽しむ『猫見酒』でした。猫を眺めながら、癒されてほしいと思うものの、具体的にはまとまらずお蔵入りに……。そんな時にたまたま目にしたのが『猫のゴロゴロ音に癒やし効果があるらしい』という記事。日本酒に音を聞かせて醸すという事例はすでにあったので、実現性が高いこの案にまとまりました。

筆文字のビジュアルやネーミングの響きも印象的です。

「日本酒らしさと高級感を担保したかったことから、あえて堅い漢字の商品名に。一方でネーミングは可愛らしくしたい」と思い「言いやすと」「わかりやすさ」「適度な堅さ」などを軸にブレ



猫好きの皆さまへ
猫とゆったり過ごす
晩酌時間を過ごせます

猫とお酒で癒されてほしい……
そんなアイデアを形にしました

スト。そのうちに、『猫音でにゃおんって読ませたらいいんじゃない』というアイデアがパツと思ひ浮かびました」

発売して1年以上経過し、今では通年販売の定番商品となりました。

「結果として予定販売本数を達成し、お客さまからも『癒やされました』というお声をいただきました。製造元の宝山酒造さんにも弊社からの一風変わった(笑)リクエストに心よく協力いただきました。最終的には猫好きにも、お酒好きにも納得してもらえ、お酒になったと思ういます。ゆるっと飲んでほしいです」

話をきいたのは

KURAND
商品企画チーム
Yuika



SNSのバズがアイデアに

Product 2

光るポメラニアン



KURAND
マーケティングチーム
Yuma



茨城県の小さな酒蔵が造る純米吟醸酒です。ラベル上で光り輝く可愛らしいポメラニアンを眺めながら、ほっこりするような晩酌時間をお楽しみください。



蓄光インクを用いたことで暗闇で首輪が光るというギミックを取り入れた「光るポメラニアン」。ネットでも「なぜ光らせた」と話題になっていましたね笑。

Yuika「動物をモチーフにした商品は以前から人気があったので、増やしていこうという方針の中、まずは人気の犬種など狭いターゲットにアプローチをしていこうという話になりました。その際に例に上がったのがポメラニアン。SNS周りに詳しいYumaさんにご相談したところ、ポメラニアンだったら絶対に光らせるべきだと(笑)」

Yuma「当時Xでも光るポメラニアンが繰り返しバズっていて。企画が立ち上がる少し前に、家の近所でリアルな光るポメラニアンを見ました。ポメラニアンの笑顔と白い毛の中に埋もれ

蓄光インクを活用した
可愛く元気になるお酒

た光る首輪が相性抜群で、絶対に光らせたならウケると思いました。あとシンブルに見て元気が出る」

Yuika「蓄光インクを使用する案は前々からあがってたのですが、コストが見合わず商品化まで至らなかったんです。しかし今回の商品は光らないと企画自体が成立しないので、なんとか説得を試みました」

Yuma「ポメラニアンの顔もいるいる難航しましたね」

Yuika「そうなんです。ただ一概に『可愛く』といっても媚びない可愛さ、性別を問わない可愛さなどさまざまで……デザイナーさんと結構何度もやり取りしました」

Yuma「いい大人が揃いも揃ってポメラニアンの可愛さについて真剣に議論していてシュールな時間でしたね笑」

思った以上に光って安心しました」



Yuma「発売後はすでにクランドの公式Xのフォロワーさんの中にポメラニアンが多くいたみたいで。愛犬と一緒に撮影してくれるなど、初動から反応がたくさんありました。商品ページのレビューも良い反応が多かったです」

Yuika「暗闇で光らせている様子も撮ってくれている方が多くいて嬉しかったです。光らせる理由があつて光る商品は、きちんとお客さまに刺さるということがわかりました」

ヒミツが明らかに！

くにゃんど大解剖！

人を招く左手

左手を挙げる招き猫は「人を招く」と言われています。クランドが酒屋として多くのお客さまにぎわう場所になるように、という思いが込められています。

無類のお酒好き？

実はくにゃんどには「無類の酒好き」「みんなをびっくりさせようと意外性のあるお酒を日々ニヤニヤと企んでいる」など隠れた性格設定が。これらはクランドの公式Xのイメージから作られたとか？



酒屋のなごり!?

お腹の「酒」の字は、街の酒屋だった時の看板から。いち早くお酒を届けたいというKURANDの思想を、江戸時代の新酒を船で運ぶレース「新酒番船」に投影し、船の帆や波のニュアンスを入れました。

実はたくさんいた!?

くにゃんどの仲間たち



くにゃんどの友だち

ひとり吞みが好きなくにゃんどだけど、たまには友だちと乾杯したくなる。



くにゃんどのパパ

ダンディなおひげがトレードマークのパパ。父の日が近くなるとやってきます。



くにゃんどのママ

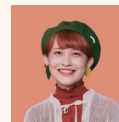
ぱっちりまつ毛がトレードマークのママ。母の日が近くなるとやってきます。

クランドの公式キャラクター

くにゃんど誕生秘話

2022年11月、クランドのブランドリニューアルに合わせて誕生した公式キャラクター「くにゃんど」。その正体は謎に包まれてきました。今回は特別にくにゃんどの生みの親であるYOPPYさんに、誕生秘話から性格までとっておきのヒミツを教えてくださいました！

くにゃんどの生みの親



NEWPEACE Inc.
アートディレクター
YOPPYさん

2015年4月より「NEWPEACE」の立ち上げに参画。これまで「NagatachoGRID」、シェアリングエコノミーなどのアイデンティティデザインや「6curry」のコミュニティ立ち上げ・デザインなど、ブランド戦略・ロゴ・WEB・広告・コミュニティ・プロダクト・空間まで領域を問わないデザインを手掛ける。



さまざまなパターンのくにゃんど(原案)

くにゃんどができるまで、どのくらいの時間がかかりましたか？
2ヶ月くらいでしょうか。累計では100

くにゃんどは2022年のクランドのブランドリニューアルに合わせて誕生したキャラクターでした。
私が所属する「NEWPEACE」がブランドデザインのお手伝いをしていて、新しいクランドの看板になるロゴが必要では」となった時にくにゃんどが生まれました。ロゴは「クランドを知らないお客さまにもクランドが「酒屋」であることを一瞬で伝える」ためのアイコンです。ヒアリングを行った際、KURAND(クランドの運営元)はもともと街の酒屋だった歴史があり、その酒屋には野良猫がよく来ていたと伺いました。その話から発想を膨らませて、猫をモチーフに「酒屋としての今までの歴史」や「親しみやすさ」をロゴに込めていきました。

パターン以上のバリエーションを作りましたね。招き猫というモチーフが決まっただけからいろいろな悩みました(左上参照)が、抽象化することで、キャラクターとしてもロゴマークとしても成立するデザインになりました。あと表情も悩ましかったです。猫をかわいいうデザインにしたらあざとすぎるので、個人的には「意地悪そうな顔がいい」と思っていたんです。次第に「ニヤッ」とした笑いの猫になりましたね。

最後にYOPPYさんのお気に入りのくにゃんどがいましたら、教えてください！
あまりにもかわいくて、作っているうちにいろいろなポーズをさせたくなってきたら、シンブンやシーンに合わせてたくさんのくにゃんどが生まれました。中でもお気に入り猫なのはトナカイになつてサンタのようにプレゼントを持つクリスマスくにゃんどや、お餅のシルエツトになりきっているのがかわいい「鏡餅くにゃんど」など(右参照)。ちよつとなりきっている感じのくにゃんどはかわいいですね！



YOPPYさんお気に入りのくにゃんど



ワイナリーの奥に広がるぶどう畑はいつでも見学可能です。

柴犬わいのモデルになった「ゆりちゃん」に会えるかも？

入口から広がるぶどう畑



「ワインはぶどうの品質で決まる」という信念のもと、ぶどう作りに力を入れている白百合醸造。その姿勢を表すように、入口にはたくさんのぶどうが、「柴犬わいん」などにも使っているぶどう品種「マスカット・ペーリー A」が栽培されています。

酒蔵見学ツアー スタート！

見学も可能な醸造所内



収穫したぶどうは自社で加工していきます。



運が良ければ1年で5日ほど、発酵タンクを覗ける日があるそう…？

醸造所内は見学も可能です。事前に予約をしていれば、ワインのボトル詰めやオリジナルのラベル作りもできます。熟成にもこだわっていて、基本樽はフランスからの輸入もの。御年90歳の樽職人が焼き直しをしながら、大切に樽を使い続けています。

お酒は試飲可能



「お客さまには顔の見える状態で直接お酒についてお伝えしたい」との思いから、ショップにも力を入れています。最大の特徴はショップ内にあるお酒をテイスティングできる点。さらには近所の農家さんの手作りジャムや従業員自らが集めたワインバッグなどのグッズなど、山梨の観光地としても楽しめるスポットになっています。



ジンの蒸留体験などもできます。

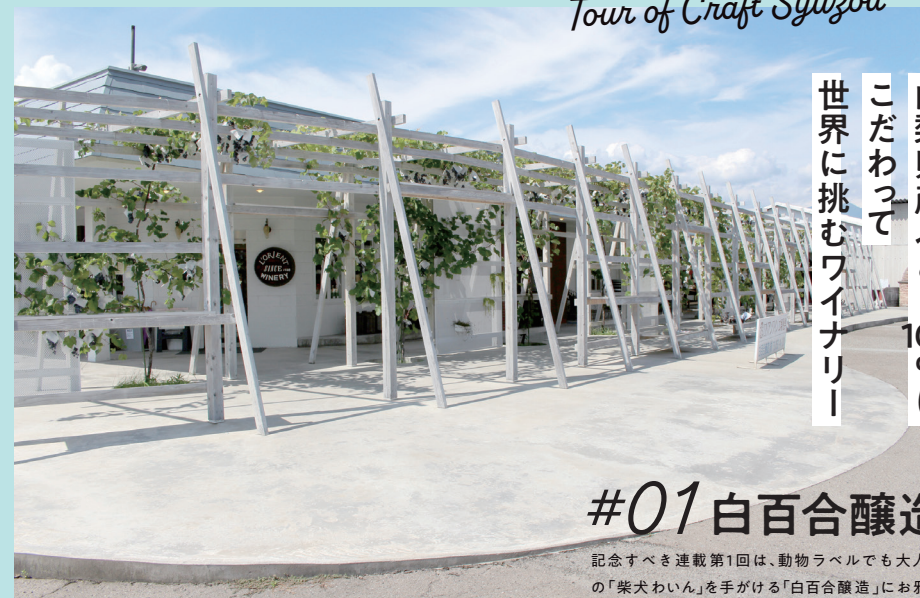


蒸留酒からワインまでたくさんのお酒がそろっています。

クランドのクラフト酒は全国各地の酒蔵でつくられています。編集部が毎年1蔵ずつ酒蔵を訪れ、蔵のこだわりやクラフト酒のできる現場を探っていきます。

クラフト酒蔵巡り

Tour of Craft Syuzou



山梨県産ぶどう100%に
こだわって
世界に挑むワイナリー

#01 白百合醸造

記念すべき連載第1回は、動物ラベルでも大人気の「柴犬わいん」を手がける「白百合醸造」にお邪魔しました。

ワインの銘醸地・山梨県甲州市勝沼町。白百合醸造は昭和13（1938）年よりこの地でワイン造りを行っています。2023年にはG7 広島サミットで同社の白ワインが振舞われるなど、注目を集める実力蔵です。

原材料にこだわり、自社畑に加え県内の72軒の契約農家と協力しながら、山梨県産100%のワイン造りを実現。農家全員と会話を重ね、品質管理も徹底。香り豊か、酸度と糖度のバランスが良く、一定の基準をクリアしたぶどうを厳選しています。

目指すは「西洋に負けない東洋のワイン」。クランドでは熱い想いを生かしながら、山梨県産のぶどうを使用したワインやブレミアムサワーベースを販売しています。さらなる成長に向け技術革新を重ねながら、勝沼ワインの発信に努めています。

クランドで販売中の白百合醸造のお酒



柴犬わいん

白百合醸造のワイナリードッグ「ゆりちゃん」をモデルにした赤ワインです。産地や品種の異なるぶどうを掛け合わせて造っています。

DATE

ジャンル : 赤ワイン
アルコール度数 : 12%
価格 : 2,990円(税込)



甲州 SANGRIA -GRAPE & ORANGE-

サングリアのプレミアムサワーベース。赤ワインのkokoroのある甘みとぶどうとみかん果汁のジューシーな甘酸っぱさ、シナモンの香りが一体となった、上品で風味豊かな1本です。

DATE

ジャンル : プレミアムサワーベース
アルコール度数 : 20%
価格 : 3,490円(税込)

